

環境チェックレポート

- (1) プロジェクト名
LNG プロジェクト
- (2) 実施場所
カナダ ブリティッシュ・コロンビア州（以下「BC州」という。）
- (3) プロジェクト概要
LNG プラント及びパイプラインの建設・運営等（以下「本事業」という。）
- (4) カテゴリ分類
カテゴリ A
- (5) カテゴリ分類の根拠
本事業は、環境ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすいセクター（石油・ガス・化学物質ターミナルセクター及びパイプラインセクター）に該当し、影響を及ぼしやすい特性を持ち、環境影響を受けやすい地域あるいはその近傍に立地するため。
- (6) 環境許認可
本事業については、同国制度に基づき環境社会影響評価書（以下「ESIA」という。）が作成され、2015年6月に連邦政府環境省により承認を取得済である。
また、本事業の不可分一体の施設と見做されるパイプラインプロジェクト（以下「本不可分一体事業」という。）については、同国制度に基づきESIAが作成され、2014年10月にBC州環境評価局により承認を取得済である。その後、ルート再選定等のために、2018年5月、2019年10月、2020年5月にそれぞれESIAの再申請・承認がなされ、最終的に2021年5月に承認を取得済である。
- (7) 汚染対策
大気質、水質、廃棄物、土壌汚染、騒音・振動、悪臭等に対し、本事業及び本不可分一体事業それぞれにおいて、適切な措置が講じられている旨確認されている。

(8) 自然環境面

自然環境面への影響に対して、本事業及び本不可分一体事業それぞれにおいて、適切な措置が講じられている旨確認されている。

(9) 社会配慮面

本事業及び本不可分一体事業それぞれにより社会経済的な影響を受ける先住民族を含む社会配慮面への影響に対して、対応計画が策定され、適切な措置が講じられている旨、確認されている。

(10) 適用国際基準

IFC パフォーマンススタンダード

(11) その他・モニタリング

上述の環境レビューを踏まえ、本事業については ESIA に係る付帯条件の遵守状況、その他許認可の取得状況及び付帯条件の遵守状況、及び先住民族との対話状況等につきモニタリングを実施する予定。

また、本不可分一体事業については、ESIA 承認付帯条件の遵守状況及び先住民族との対話状況等につきモニタリングを実施する予定。

以 上

質問事項

質問1. プロジェクトサイトの住所を記入して下さい。

プロジェクトサイトの住所： British Columbia, Canada

質問2. プロジェクトの内容について簡単に記入して下さい。

西カナダで産出されるシェールガスを原料として、パイプラインを通じて、ブリティッシュコロンビア州（以下「BC州」という。）に建設中の液化プラントでLNGを製造、販売する事業。

質問3. プロジェクトは、新規に開始するものですか、既に実施しているものですか？既に実施しているものの場合、既に行われているプロジェクトは現地住民等より強い苦情や現地環境当局から改善指導や工事中止・操業停止命令等を受けたことがありますか？

新規 既往（苦情等あり） 既往（苦情等なし） その他（既往、関連プロジェクトに苦情等あり。）

液化プラント建設については先住民等の反対活動は見られない。パイプラインプロジェクトについては、ごく一部の反対派を中心とした反対活動が見られたが、沈静化している。なお、BC州政府指定の協議対象である主要先住民部族・グループとはFID時点あるいはFID直後に利益分与契約を締結済みであり、大多数からはプロジェクトに対する積極的な支持を得ている。

質問4. プロジェクトに関して、環境社会影響評価（ESIA、EIA等）はプロジェクトを実施する国の法制度上必要ですか。必要な場合、実施または計画されていますか？

要（実施済） 要（実施中・計画中） 不要
 その他（ ）

質問5. 環境社会影響評価が既に実施されている場合、環境社会影響評価はプロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度等に基づき審査・承認を受けていますか？既に承認されている場合、承認年月、承認機関について記載して下さい。

承認済み（附帯条件なし） 承認済み（附帯条件あり） 審査中
 その他（ ）

承認年月：2015年6月17日 承認機関：BC州環境審査オフィス（Environment Assessment Office）
承認年月：2020年7月 承認期間：BC州石油ガス委員会（BC Oil and Gas Committee）

質問6. 環境社会影響評価以外の環境に関する許認可が必要な場合、その許認可名を記載して下さい。また、当該許認可を取得済みですか？

取得済み※LNGプラント 取得必要だが未取得 取得不要※パイプライン
 その他（ ）

許認可名：Disposal at Sea permit

質問7. 現時点でプロジェクトを特定できない案件（例：特定プロジェクトと関連のない機器等の単体輸出入やリース、承諾時にプロジェクトを特定できないツーステップローン等）ですか？

(Yes) / (No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。
No の場合、質問 8 以下にお答え下さい。

質問 8. プロジェクトサイト内または周辺域に以下に示す「影響を受けやすい地域」がありますか？

(Yes) / (No)

Yes の場合、該当するものをマークして下さい。質問 9 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 9 以下にお答え下さい。

- (1) 国立公園、国指定の保護対象地域（国指定の海岸地域、湿地、少数民族・先住民のための地域、文化遺産等）
- (2) 生態学的に重要な森林（原生林、熱帯の自然林を含む）
- (3) 生態学的に重要な生息地（珊瑚礁、マングローブ湿地、干潟を含む）
- (4) 国内法、国際条約等において保護が必要とされる貴重種の生息地
- (5) 大規模な塩類集積あるいは土壌浸食の発生する恐れのある地域
- (6) 砂漠化傾向の著しい地域
- (7) 考古学的、歴史的、文化的に固有の価値を有する地域
- (8) 少数民族あるいは先住民、伝統的な生活様式を持つ遊牧民の人々の生活区域（文化的、精神的な目的で使用される地域を含む）、もしくは特別な社会的価値のある地域

※LNG プラント-上記マーク全て、パイプライン-(2) (8) のみ

質問 9. プロジェクトにおいて以下に示す特性が予定されていますか？

(Yes) / (No)

Yes の場合、該当する特性の規模を記載して下さい。また、質問 10 以下にお答え下さい。
No の場合、質問 11 以下にお答え下さい。

<LNG プラント>

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: 約 330 ha)
- (4) 森林伐採 (規模: 約 278 ha)

※LNG プラント用地における森林伐採規模は(3)の内数。

<パイプライン>

- (1) 非自発的住民移転または生計手段の喪失 (規模: 人)
- (2) 地下水揚水 (規模: m³/年)
- (3) 埋立、土地造成、開墾 (規模: ha)
- (4) 森林伐採 (規模: 約 83 ha)

質問 10. プロジェクトを実施する国の環境社会影響評価制度において、質問 9 (1) ~ (4) に該当する特性及びその規模が、プロジェクトの環境社会影響評価を実施する根拠になっていますか？

- 根拠となっている 根拠となっていない
- その他

質問 11. プロジェクトは、社会面で重大な影響を及ぼす可能性が高いですか？

(Yes) / (No)

Yes の場合、該当する内容を記載して下さい。また、質問 12 以下にお答え下さい。

No の場合、質問 12 以下にお答え下さい。

- 人権への重大な影響を及ぼす可能性 ()
- その他 ()

質問 1 2. 総プロジェクトコストに占める国際協力銀行または日本貿易保険支援割合が、5%以下または支援額が 10 百万 SDR 相当円以下ですか？(既往の同一プロジェクトへの追加支援の場合は累積額とする。)

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 13 以下にお答え下さい。

質問 1 3. 環境社会影響が軽微なもしくは悪化が予見されないプロジェクト(例：既存設備のメンテナンスのプロジェクト、拡張を伴わないリハビリ、追加設備投資を伴わない権益取得)に該当しますか？

(Yes / No)

Yes の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

No の場合、質問 14 以下にお答え下さい。

質問 1 4. 以下に掲げる特定セクターに該当するプロジェクトですか？

(Yes) / No)

Yes の場合、該当するセクターをマークして下さい。また、質問 15 にお答え下さい。

No の場合、以降の質問にお答え頂く必要はありません。

- (1) 鉱山
- (2) 石油・天然ガス開発
- (3) パイプライン
- (4) 鉄鋼業 (大型炉を含むもの)
- (5) 非鉄金属製錬
- (6) 石油化学 (原料製造。コンビナートを含む)
- (7) 石油精製
- (8) 石油・ガス・化学物質ターミナル
- (9) 紙、パルプ
- (10) セメント (新設の採石場を含むもの)
- (11) 有害・有毒物質製造・輸送 (国際条約等に規定されているもの)
- (12) 火力発電
- (13) 原子力発電
- (14) 水力発電、ダム、貯水池
- (15) 送変電・配電 (大規模非自発的住民移転、大規模森林伐採、海底送電線を伴うもの)
- (16) 道路、鉄道、橋梁
- (17) 空港
- (18) 港湾
- (19) 下水・廃水処理 (影響を及ぼしやすい特性を含むか、影響を受けやすい地域に立地するもの)
- (20) 廃棄物処理・処分
- (21) 農業 (大規模な開墾、灌漑を伴うもの)
- (22) 林業、植林
- (23) 観光 (ホテル建設等)

質問 15. プロジェクトの規模（概略開発面積、施設面積、生産量、発電量等）について記入して下さい。また、プロジェクトを実施する国において、そのプロジェクトの規模が大きいことを理由として環境社会影響評価が必要となるかどうかについても記入して下さい。

<LNG プラント>

1 系列あたりの LNG 生産予定量は 700 万トン/年で現有敷地面積（330 ヘクタール）に最大 4 系列の建設が可能。2 系列分の建設が進行中。

プロジェクトを実施する BC 州において、プロジェクトの種類により、プロジェクトの規模が大きいことを理由として、環境当局の決定により環境社会影響評価が必要となる。

<パイプライン>

25 km のパイプライン（口径：36 インチ、容量：約 28 百万 m³/日）を建設予定。建設が行われる土地は、全てが私有地であり、地権者との契約は取り付け済み。

BC 州において建設される石油ガスパイプラインについては、プロジェクト規模にかかわらず環境社会影響評価が必要となる。